

専門課程シラバス

授業科目	成人看護学実習(急性期)		担当者	高橋美由紀		実務経験	○(専任教員)
開講時期	3学年前期	授業の方法	実習	単位数	1	時間数	45
授業概要	急性期にある患者の特性を理解し、危機的状況に応じた看護を学ぶ。急性期にある対象に起きている変化や、反応を科学的根拠を持ち援助ができる。また、自己の看護を振り返り、看護学生としての自覚と責任を持った行動ができる。						
授業計画	<p>初日:担当患者を知る(患者の情報収集、薬剤について学習、データベースの記入)</p> <p>2日目:病態生理の確認看護の方向性の確認</p> <p>3日目:看護の方向性についてカンファレンス</p> <p>4日目以降:看護の方針、治療前後の看護について指導を受けながら看護展開を行う。</p> <p>7日目:自分の行った看護を振り返る</p> <p>8日目:行った看護を振り返り評価し、今後の課題を明らかにする。</p> <p>実習期間 令和7年 4月10日～4月21日 6日間</p>						
テキスト 参考文献	<p>系統看護学講座 成人看護学総論第16版 第1刷 医学書院 2023</p> <p>系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 第11版 第6刷 医学書院 2023</p> <p>系統看護学講座 別巻 緩和ケア 第3版 第3刷 医学書院 2023</p> <p>系統看護学講座 別巻 がん看護 第3版 第1刷 医学書院 2022</p>						
成績評価 の方法	成人看護学実習の到達度基準に従い、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後までの学習状況から、学生・教員(臨地実習指導者所見含む)で評価を行い総合評価がC以上を合格とする						

専門課程シラバス

授業科目	成人老年看護学実習		担当者	高橋 美由紀		実務経験	○(専任教員)
開講時期	2学年後期	授業の方法	臨地実習	単位数	3	時間数	135
授業概要	慢性疾患を持つ対象とその家族を理解し、加齢現象応じた看護を学ぶ。また、健康障害を持つ対象とその家族に対する看護を学ぶ。看護を実践する基礎的能力を養い、保健、医療、福祉の連携における看護者の役割を理解するとともに、自己の老年看護観を発展させる。						
授業計画	<p><1週目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け持ち患者の疾患、治療、看護を理解する。 ・患者に必要な援助を考え、指導者とともに行うことができる。 ・ゴードンの機能的健康パターン毎の仮診断を出し、患者に適切かどうかを検証できる。 ・パターン毎に診断の特定をする。 ・診断を確定し、優先順位をつける。 ・看護の方向性、診断の特定及び優先順位についてカンファレンスを行う。 <p><2週目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・優先順位が一番高いものについて目標を設定し、その根拠を明らかにする。 ・患者の目標に応じた具体的な計画の立案、及び援助を行う。 ・必要な情報を把握し、それをもとにアセスメントや目標達成の評価をして、看護目標、計画立案についてのカンファレンスを行う。 <p><3週目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の行った看護のフィードバックを行う。 ・フィードバックした内容を基に、看護計画の評価、修正を行う。 ・看護過程を評価する。 ・自分の行った看護を振り返り、実習を通して学んだこと、今後の課題を明らかにする。 <p>実習期間 令和6年1月10日～2月4日(18日間)</p>						
テキスト 参考文献	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 第9版 第6刷 医学書院 2023 系統看護学講座 専門分野 老年看護病態・疾患論 第5版 第6刷 医学書院 2023 NANDA-I 看護診断看護診断定義と分類 2021-2023 看護診断ハンドブック 第11版						
成績評価 の方法	実習要項にある評価規準に基づき、各目標の達成度を評価する。(実践・態度・記録)						